

今期定例会において、当委員会付託の議案五件、請願一件、継続審査中の請願二件について審査の結果、議案四件は全員一致で可決、議案一件は賛成多数で可決し、請願は採決の結果、一件不採択、二件継続審査とした。塵芥処理費のうち、加茂最終処分場の調査委託料について質疑があり、環境省から全国的に不適切最終処分場とし

厚生委員会

市の福祉健康部(福祉、健康、医療)、環境生活部(生活、環境保全、ごみ)に関する事項に対応する委員会です。

○高橋 誠 ○近藤吉一郎 岡田康弘 岡安謙典
木下健二 斎藤弘道 松本義隆 美見みち子 山本睦夫

て公表された施設の一つであり、閉鎖に向けての調査で、内容は浸出水、地下水、発生ガス、埋立物等の調査委託との答弁があつた。放課後児童育成事業委託料、児童扶養手当の増額補正、生活保護費の国庫への返還金についての質疑があり、放課後児童クラブは前年の利用状況から、当初七〇〇名の見込みが、北小児童の事件後、安全部の希望から八一五名の利用希望があつたこと、児童扶養手当は前年の一ヶ月あたり新規申請者が十三人だったのが、十七年度は十七人となつてること、生活保護費は、インフルエンザが予想より流行しなかつたため医療扶助費が見込みより少なかつたとの答弁があつた。

「津山市介護保険特別会計補正予算(第一次)」は、十月からの制度改正により、介護保険三施設入所者の居住費、食費が保険給付

の対象外となり自己負担になることに伴い、低所得者対策として所得に応じた負担限度額が設けられ、国で定める基準費用額と負担限度額の差額を新たに補足的給付する給付費を予算計上したとの説明があり、一部委員より、この給付に反対との意見があつたが、賛成多数で原案のとおり可決した。また、旧加茂町分の岡山県財政安定化基金からの借入分を一括返済することについて、一部委員より、予算に余裕があるのならば、本年度の介護保険料改定に当たつて、保険料を上げない方向にも使ってもらいたい旨の要望があつた。請願第九号「綾部地区総合ごみ処理センター建設計画の白紙撤回と設置方針の見直しを求める請願書」は、不採択とした。継続審査中の請願第一号「乳幼児医療費国庫負担制度の創設を求める国への意見書採択のお願い」、請願第二号「乳幼

児医療費助成への国保国庫負担の減額調整(ペナルティ)の廃止を求める国への意見書採択のお願い」は、継続審査とした。

最後に当局から、津山国際交流車いす駅伝競走大会は、第五回全国障害者スポーツ大会輝いて!おかやま大会関連事業として、十一月二十七日(日)の開催に向けて、作文の募集、福祉講演会、車いすランナーとのふれあいマラソンの実施等の準備を進めていくとの報告があつた。



◎前ページまでの下の余白の標語について、このような行為を行い、処罰されますと公民権停止の対象となります。